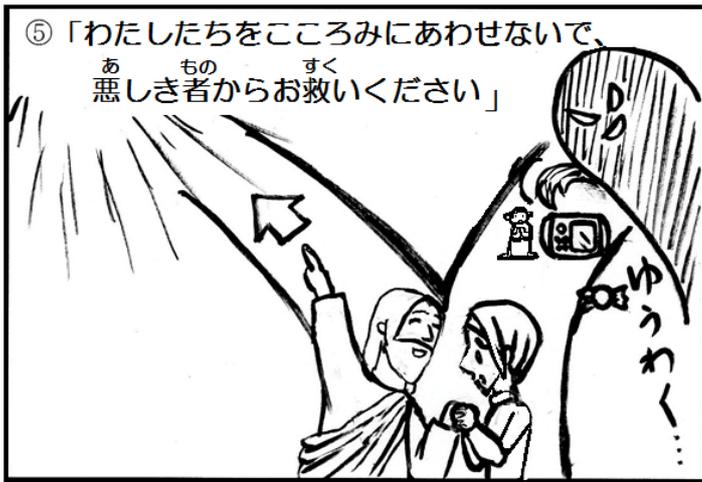
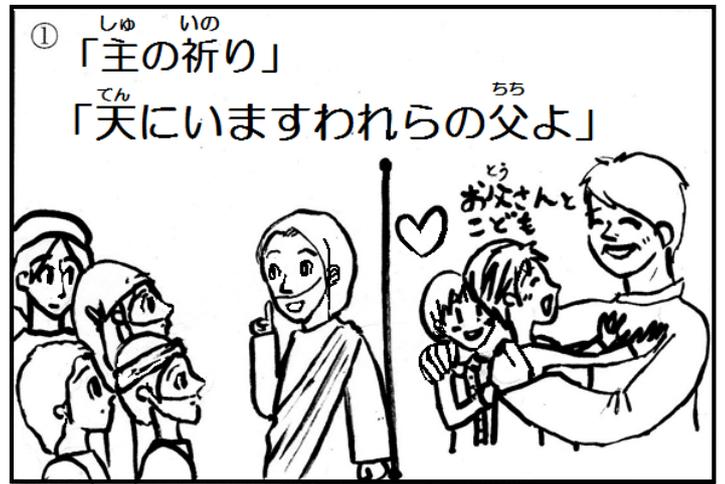
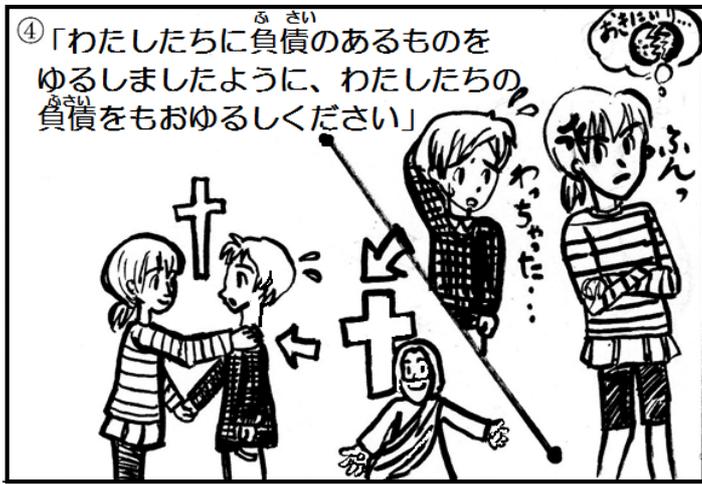


7月6日 「形だけじゃなく、心もきれいに」 マタイ 5・17~32

1. イエス様が弟子たちに教えられている。
2. 十戒。律法学者やパリサイ人は形だけの人もいた。
3. 汚れた心の中。
4. 心が汚れていて、苦しいのは自分自身。神様は私たちが苦しむのを願っておられない。
5. イエス様の十字架と復活は、私たちの心を清めてくださるため。
6. イエス様によって心を清くされた女の子が、形だけでなく、心から神様の前に正しく生きている。

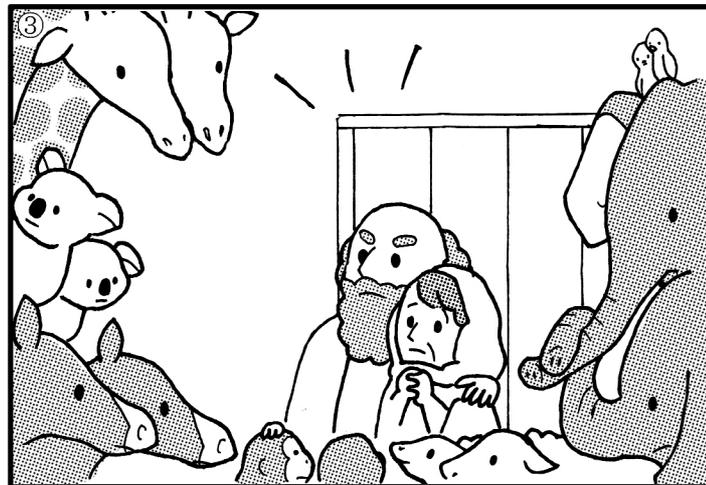
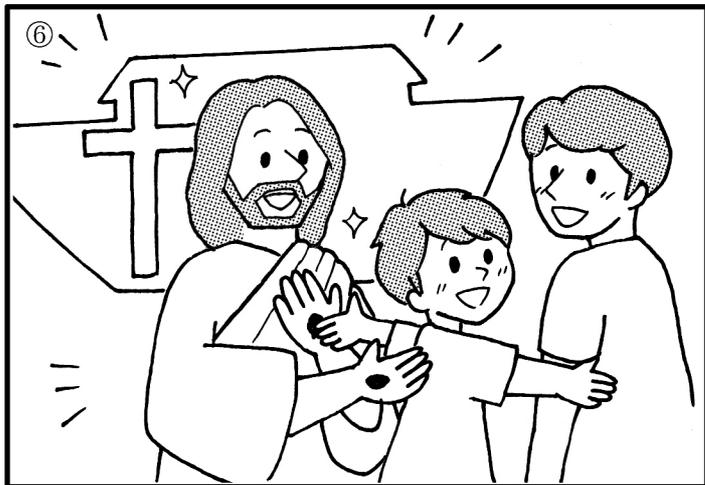
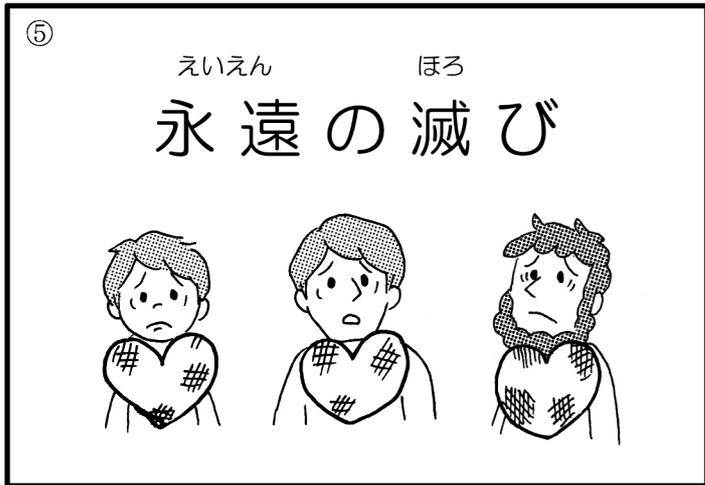
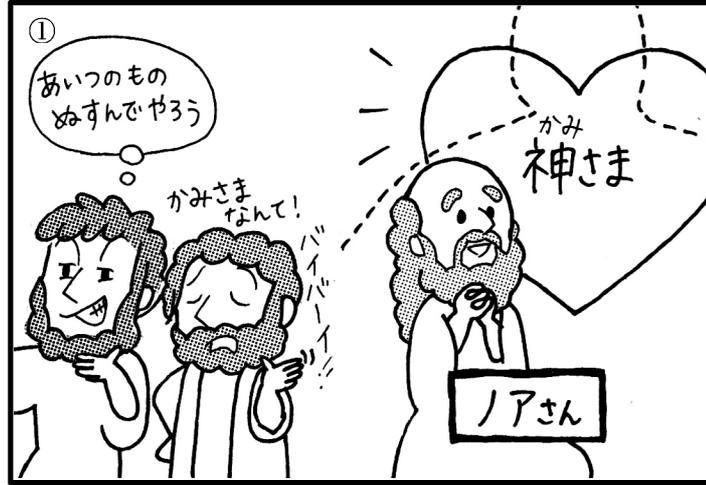
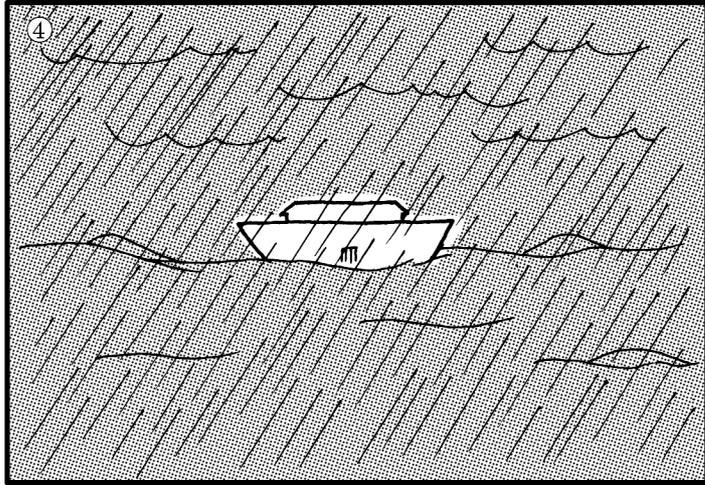
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



7月 13日 「主の祈り」 マタイ6・7～13

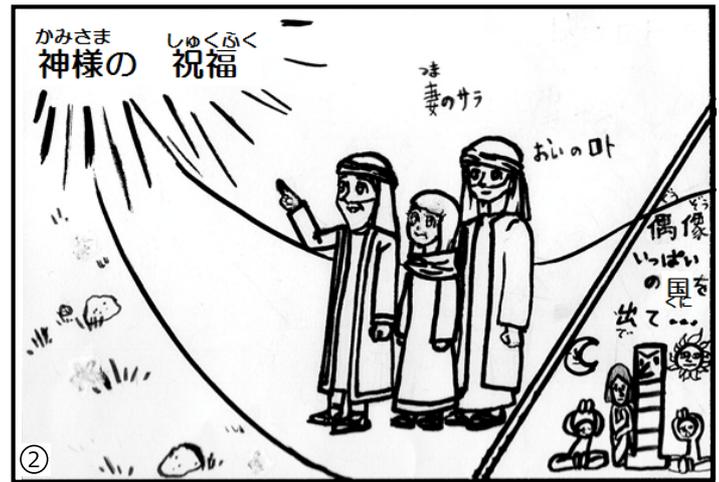
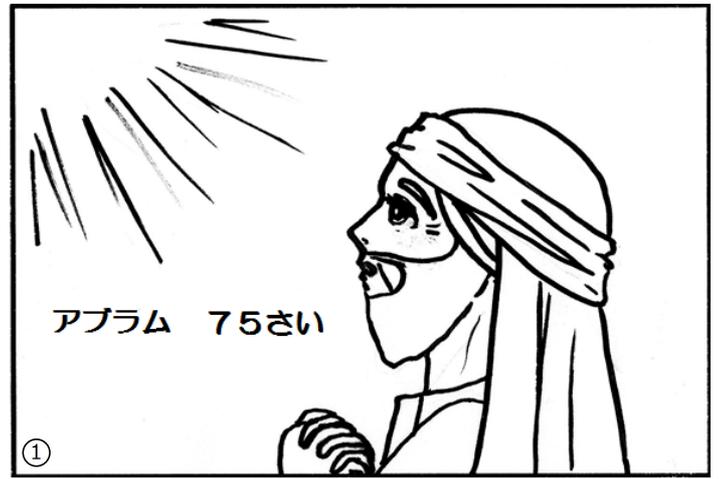
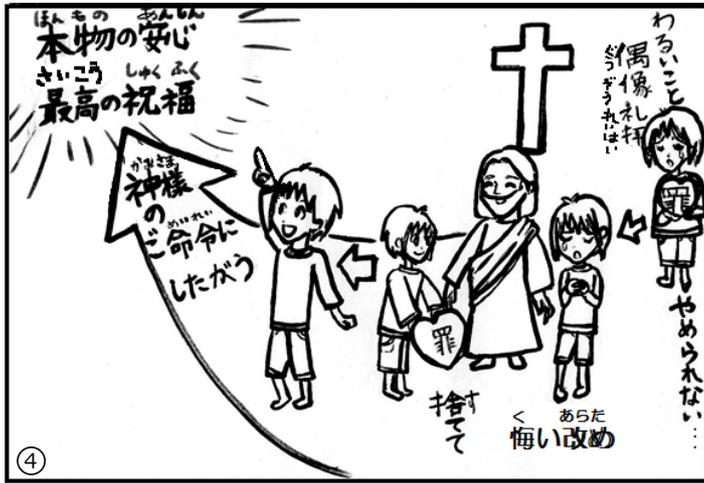
1. 弟子たちに「主の祈り」を教えられるイエス様。「天にいますわれらの父よ」と子どものように呼び掛ける。
2. 「御名があがめられますように」「御国が来ますように」「御心が天で行われるとおり、地にも行われますように」と礼拝し、祈る。
3. 私たちの日ごとの食物を、今日もお与えください。生きるために必要なものを与えて下さい、と祈る。
4. 「私たちに負債のある者をゆるしましたように、私たちの負債をもゆるしてください」と祈る。
5. 「私たちが試みに合わせないで、悪しき者からお救いください」と祈る。
6. 「国と力と栄えとは、とこしえにあなたのものだからです」と、主の祈りを毎日祈る。

※各絵を A4 サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3 サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



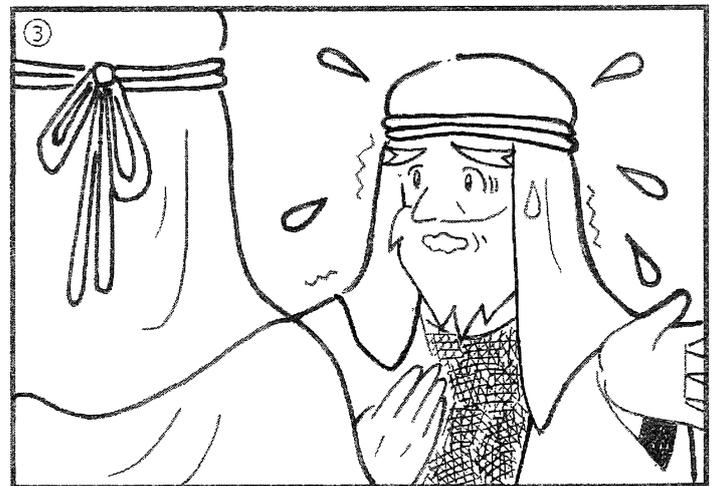
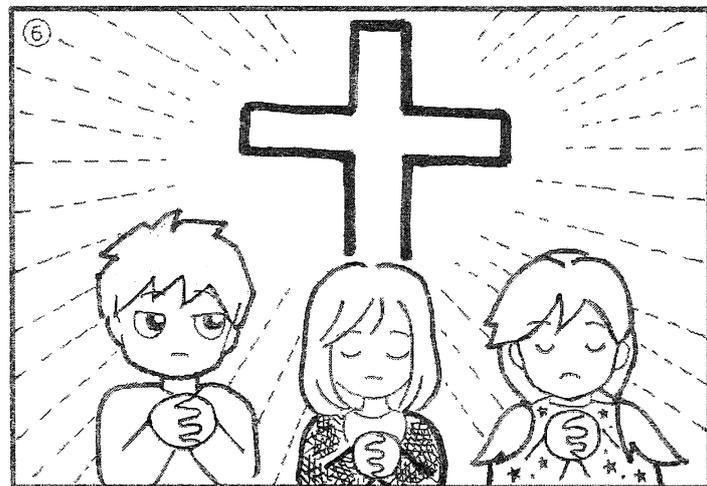
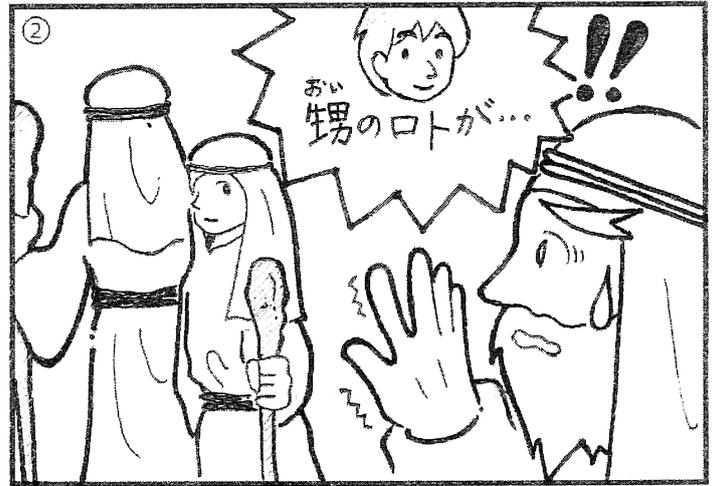
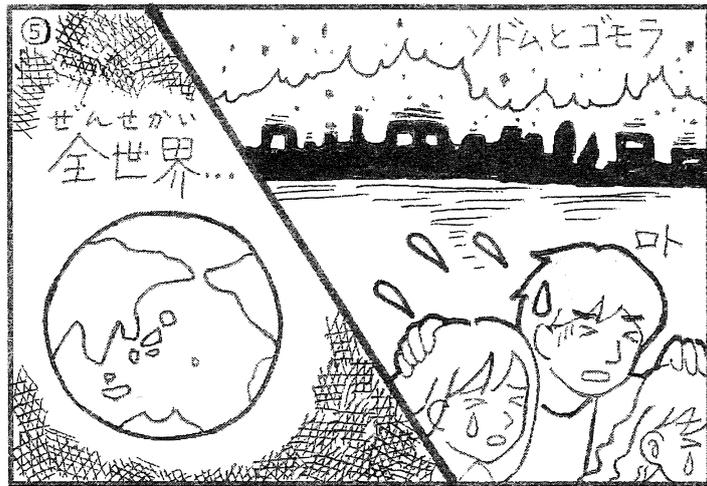
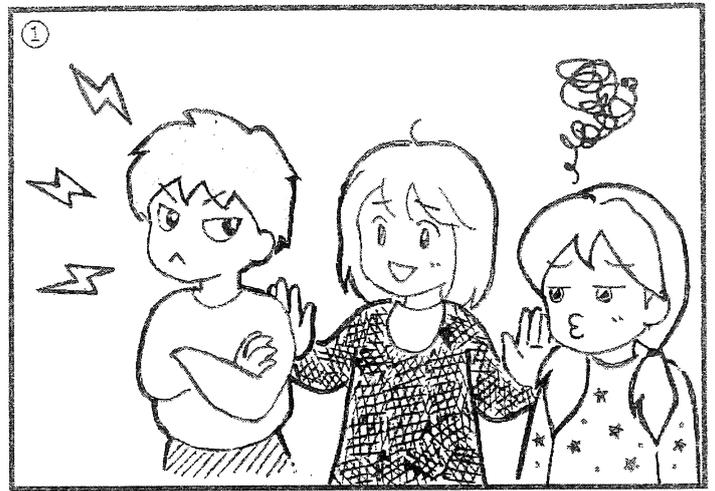
## 7月20日 「箱舟に乗り込もう！」 創世記 7・1～24

1. 心から神様を信じていた、ノア。神様を無視し、自分勝手に生活する人々。
2. 神様の言われる通りに箱舟を造るノア。それをバカにする人々。
3. 箱舟に入るノアと、動物たち。
4. 洪水と雨の中、浮かぶ箱舟。
5. 永遠の滅びを知る人たち。
6. 箱舟であるイエス様を信じ、家族にもイエス様を伝える男の子。



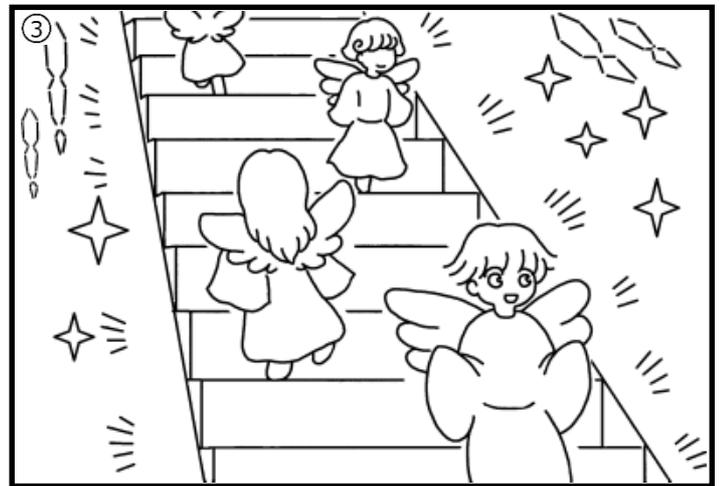
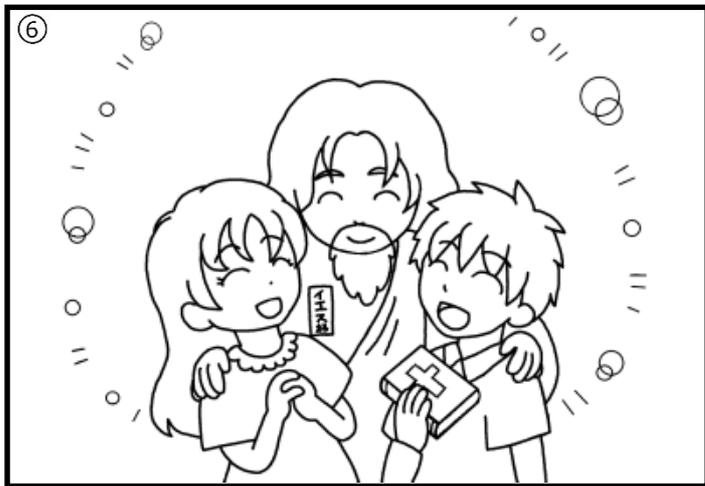
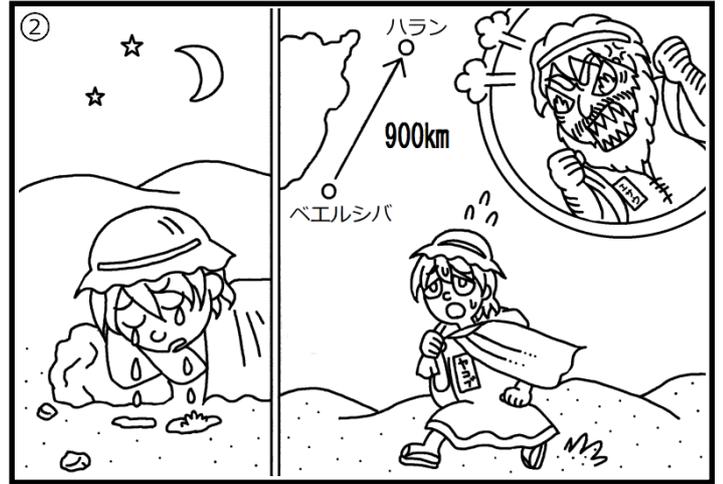
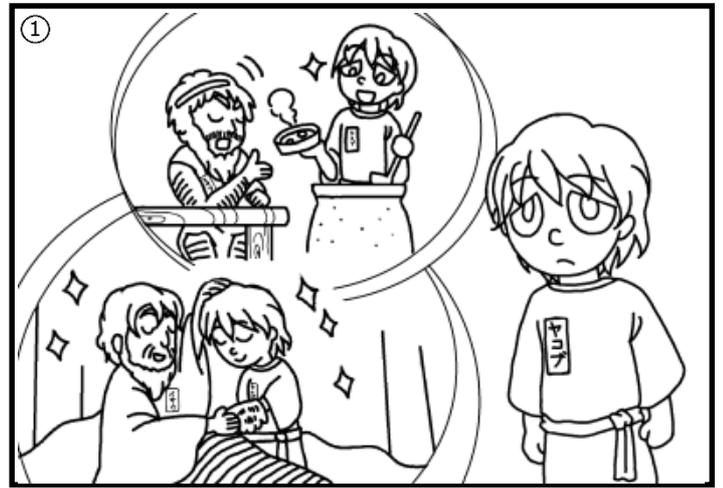
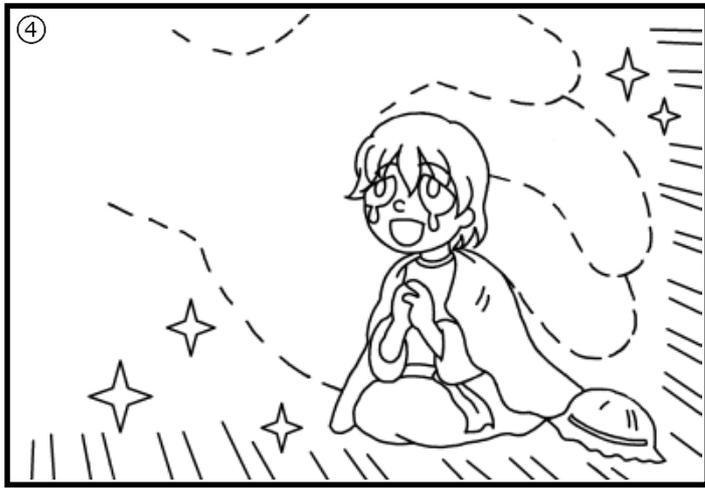
7月 27日 「従おう！神様の導きに」 創世記12・1～9

1. アブラムに、「これから旅に出なさい」という、神様からの御言葉があった。
2. 神様の言われたとおりに導きに従って、偶像いっばいの故郷や風習を捨てて旅に出たアブラムたち。
3. 心を点検してみる。神様よりももっと大切にしているものはないか？
4. 罪を悔い改め、十字架の下に捨て去って、神様の導きに従って生きていくなら、本物の幸せがある。
5. 神様の導きに従った、太郎くんの例話。万引きをしても悪いと思わなかった・・・。
6. 教会学校で罪だとわかり、友だちも一緒に悔い改め、神様の導きに従って、代金を持って謝りに行った。



8月3日 「とりなしの祈りをささげよう！」 創世記18・16～33

1. 「とりなし」とは、仲直りが難しい二人の間に入って、仲直りのお手伝いをする事。
2. 主はアブラハムに、ソドムとゴモラの町を滅ぼすと告げられ、み使いたちはソドムへ向かう。ソドムには、アブラハムの甥のロトが住んでいた。
3. アブラハムは恐る恐る主に近づき、とりなし始めた。
4. アブラハムの必死のとりなしが続く。主も、アブラハムのとりなしに答えて下さっている。
5. 残念ながらソドムとゴモラは滅ぼされた。しかし、アブラハムのとりなしが聞かれ、ロトとその家族は救われた。主は今、全世界の滅びを告げておられる。
6. イエス様の十字架によって、すべての人の救いの道は開かれた。アブラハムのように必死でとりなす人を、主は探しておられる。

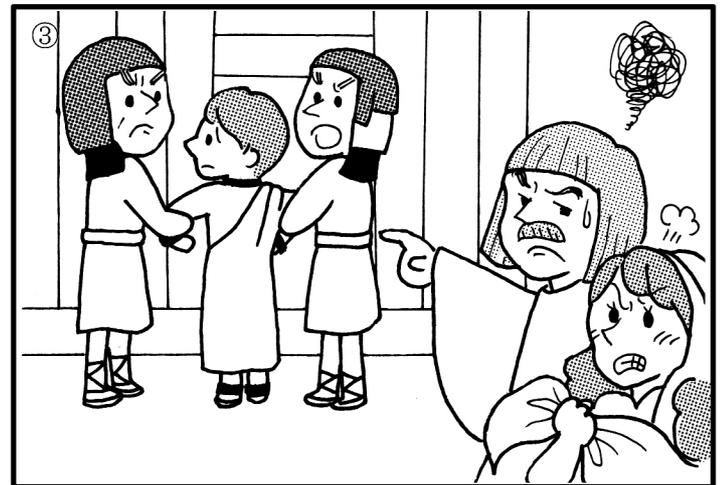
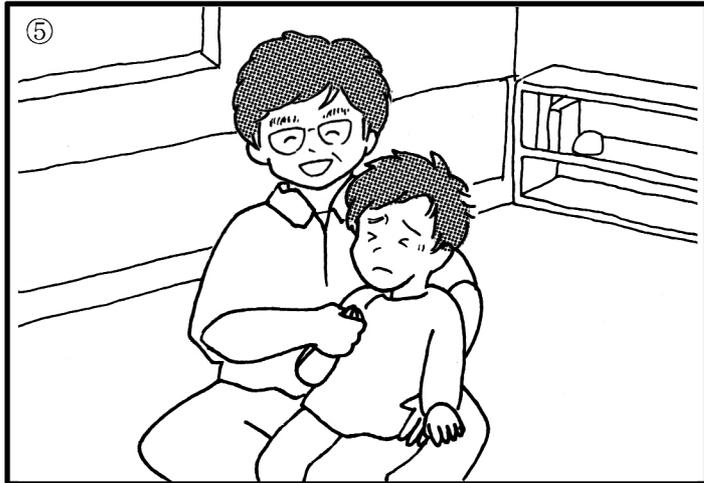
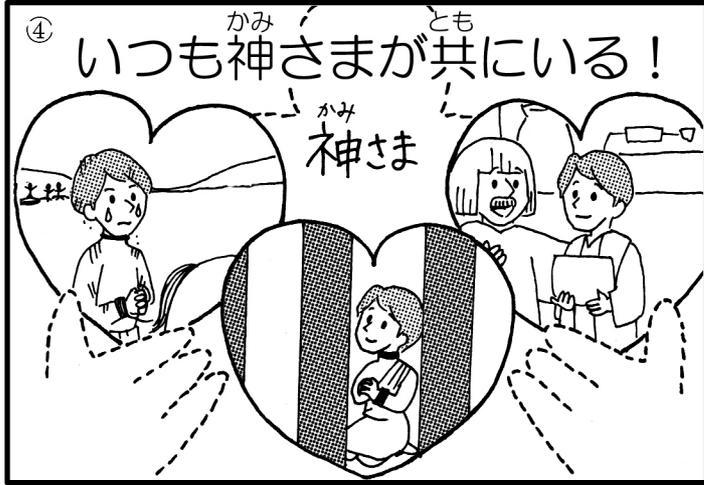


### 8月10日 神様といつもいっしょ！ 創世記 28・10~22

1. ヤコブはエサウから長子の特権を手に入れ、イサクはエサウの祝福の祈りをヤコブにした。
2. かんかんに怒ったエサウから逃げるヤコブ。野原で石を枕にして泣きながら寝ているヤコブ。
3. ヤコブは夢の中で1つのはしごを、天使が上り下りしているのを見る。
4. ヤコブは心の目が開かれ、神様が共にいてくださっていることに気づいた。
5. イエス様は、十字架で命を投げ出して、罪を背負ってくださった。  
私たちが天国の御国に登って行ける「はしご」になってくださった。
6. いつも一緒にいてくださる神様に目を向けて生きるなら、何も怖いものはありません。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。

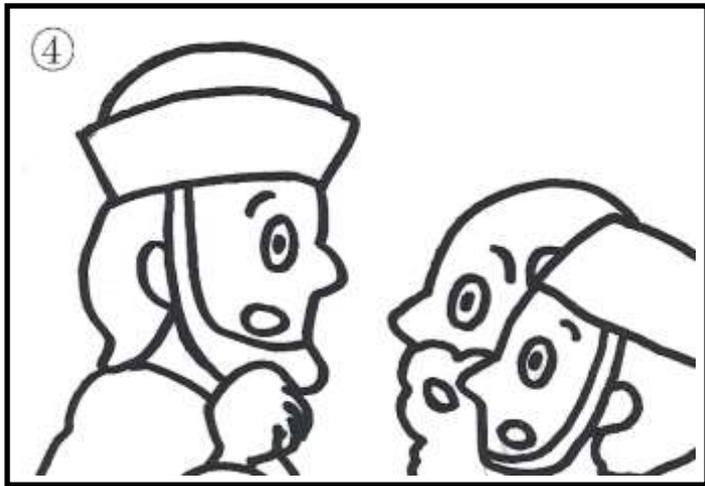




8月24日 「主は私と共にご一緒ください！」 創世記 39・19~23

1. 売られるヨセフ。
2. ポテパルに忠実に仕えるヨセフ。ポテパルの奥さんはヨセフに近づこうとしている。
3. 牢獄に引っ張られていくヨセフ。
4. いつも神様が共におられたヨセフ。
5. もとやすくんに、「先生がいるから大丈夫だよ」と声をかけるK先生。
6. 自分の生活の中にも、神様が共にご一緒くださる恵みがあることを感じたK先生。

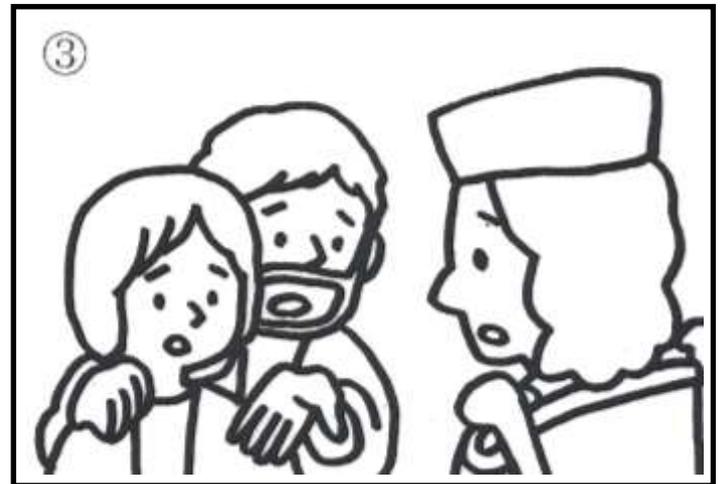
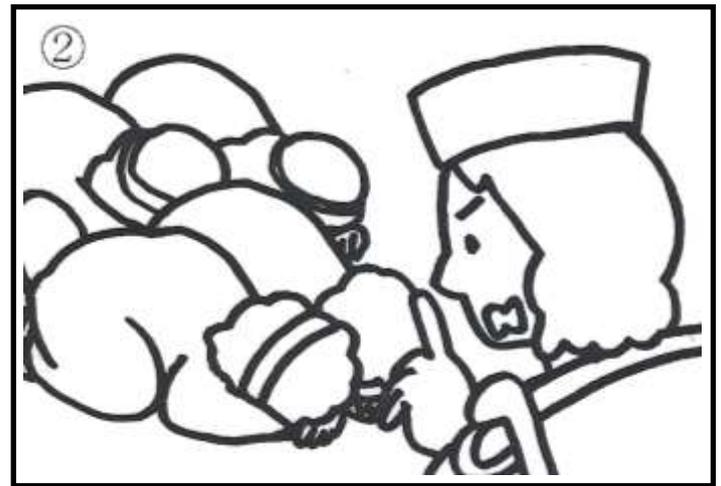
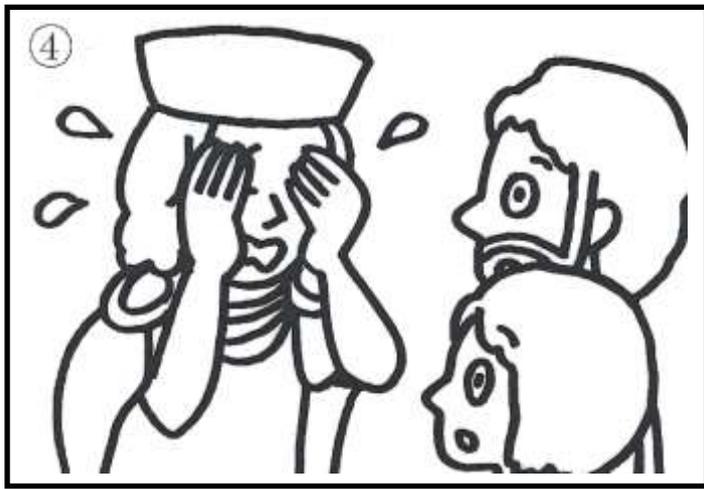
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



**8月31日 聖書に導かれる生涯(ヨセフ物語③) 創世記41・37~49**

1. ある日、王様の使いが突然やってきて、ヨセフは牢屋から出され、ひげをそり、新しい服を着て王様の前に立つことになりました。
2. 王様に夢を解き明かすことができるか尋ねられたヨセフは神様が教えてくださるときっぱり答えました。
3. 王様は悩ましい顔をしながら見た夢の話をしました。ヨセフはこの夢は神様がこれから起きることを教えてくださったのだと解き明かしました。
4. ヨセフの解き明かしを聞いた王様とすべての家来たちは皆、ああ、そうなのか！と感心しました。
5. 王様は自分の指輪を手から外して、ヨセフの手にはめ、亜麻布の衣服を着せ、金の首飾りをヨセフの首にかけました。
6. 神様の知恵と力に満たされたヨセフはエジプト全国をくまなく巡回し、国づくりに励みました。

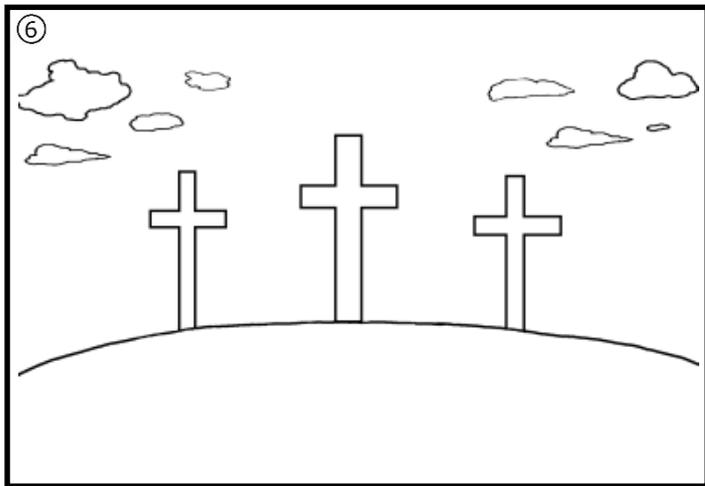
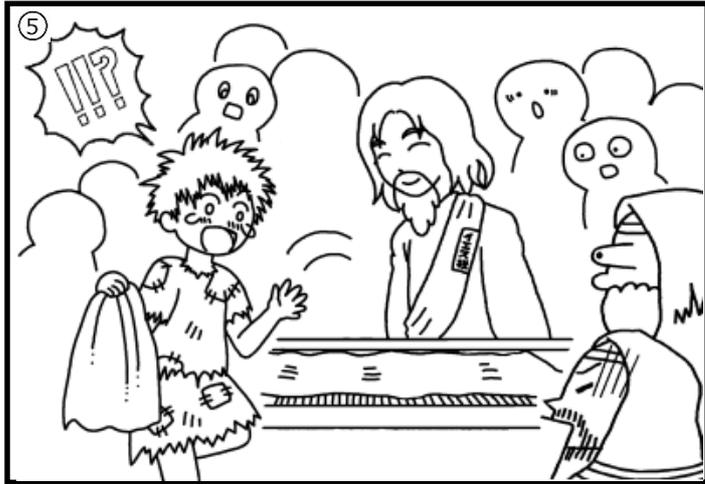
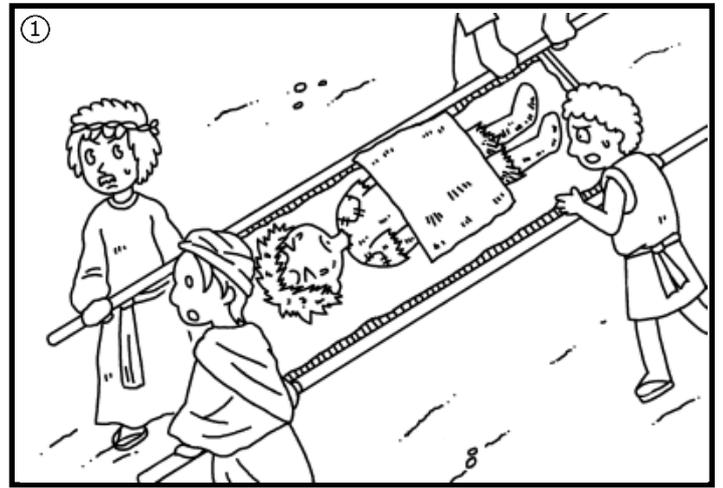
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月7日 最善に導かれる神（ヨセフ物語④） 創世記45・1～15

1. 噂を聞いたお父さんのヤコブは、お兄さんたちをエジプトに行かせました。
2. まさか大臣がヨセフとは夢にも思わないお兄さんたちは地面に頭をすりつけてお願いしましたが、ヨセフは「お前たちは、回し者だ。この国のすきをうかがうために来た者だ！」とわざと荒々しく言いました。
3. ベニヤミンが兄に連れられてヨセフのもとに姿を現しました。ヨセフは彼らとのやり取りを通してお兄さんたちの心が変わったことを知って胸がいっぱいになりました。
4. ヨセフは兄弟たちに自分の身分を明かし、我慢できずに声をあげて泣きました。兄弟たちは驚きのあまり、ただただ立ち尽くしているばかりです。
5. ヨセフは神様のご計画の話をして、家族でエジプトに住むように言いました。
6. ヨセフは弟ベニヤミンの首を抱いて泣きました。また、他の兄弟とも和解し、互いに抱き合い語り合いました。

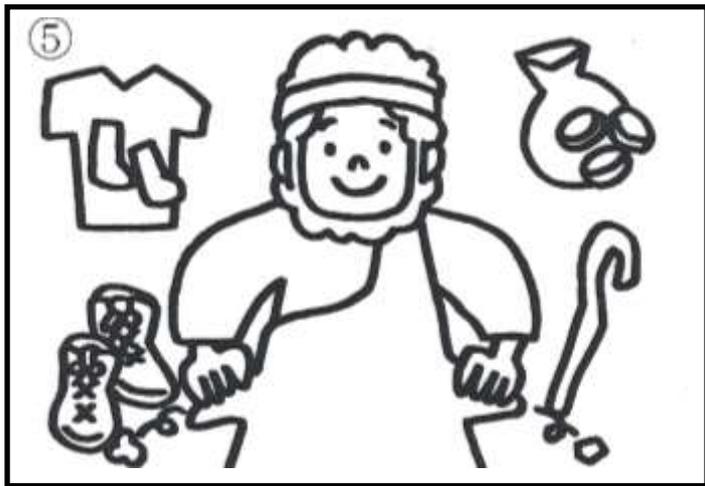
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月14日 あなたの罪は赦された？ マタイ9・1~8

1. 数人の人が、床に寝かせたままの中風の男を運んで来ました。
2. イエス様は中風の男に「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と言われました。ユダヤ教の指導者たちは怒りました。
3. イエス様は彼らの考えを見抜いて、おっしゃいました。
4. イエス様は中風の男に「起きよ、床を取りあげて家に帰れ」と言われました。
5. イエス様の言葉を聞いた中風の男は、すぐに起き上がり自分で歩き出しました。
6. イエス様の十字架によって私たちの罪はゆるされるのです。

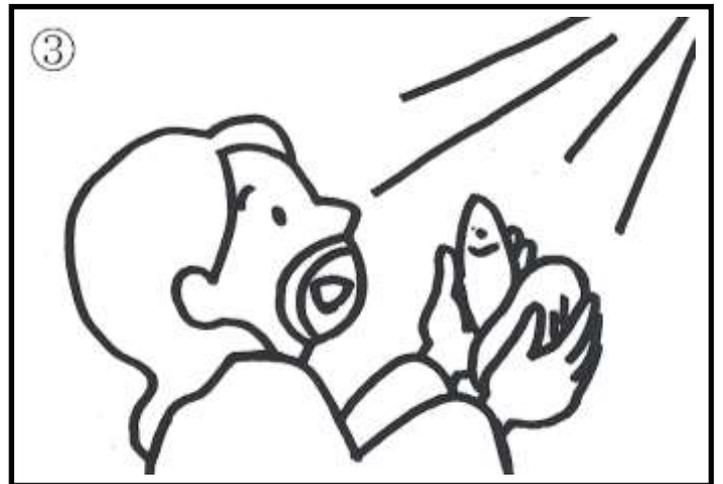
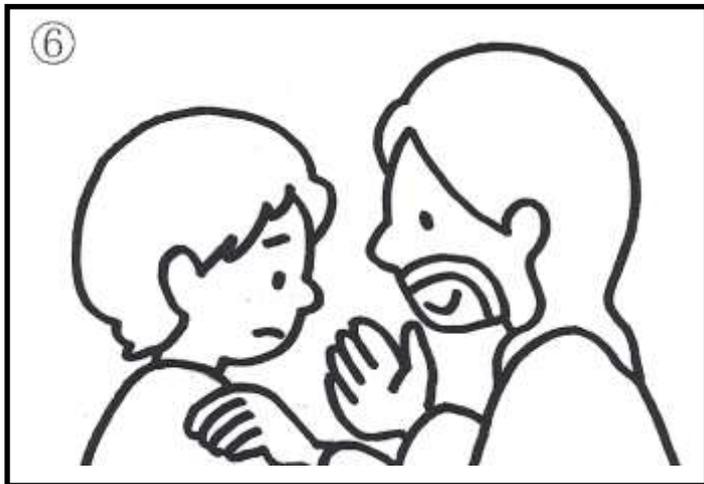
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



**9月21日 弟子たちの派遣 マタイ10・1～16**

1. イエス様は多くの群衆が毎日押し寄せてくる姿を見て、羊飼いのない羊のようだと、かわいそうに思われ、人々をその状態から救い出すために弟子たちをご自分の代理として遣わすことを決心なさいました。
2. 一人で山に登られたイエス様は、夜を徹して祈られ、12人の弟子に「使徒」という名を与えられました。
3. イエス様は弟子たちの何もかもご存知で様々な人を大切な働きのために選び、訓練し、用いようとされました。
4. イエス様はまず、苦しんでいる人々のところに行き「天国は近づいた」と宣べ伝えること、病人を癒し、死人をよみがえらせ、悪霊を追い出すこと、を弟子たちに語られました。
5. また、必要は神様をご存知だから、神様だけを信頼せよ、と命令をなさいました。
6. 弟子たちが遣わされる場所は、羊が狼の中におかれるようなものでしたが、イエス様は聖霊による上からの知恵と必ず使命を全うさせて下さるといふ、主へのゆるぎない信頼を持って進むようにと助言されました。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



**9月28日 5つのパンと2匹の魚 マタイ14・13~21**

1. イエス様はご自身を慕ってどこまでも、どこまでも追いかけてくる人々をあわれんで、病気を癒したり、助けられました。夕方近くなっても誰一人帰ろうとしません。
2. 弟子たちが思い余ってイエス様に解散を提案すると、イエス様は「あなたがたの手で食べ物をやりなさい。」とおっしゃいましたが、弟子たちはパン5つと魚2匹しか持っていませんでした。
3. イエス様はパンと魚を手にとり、天を仰いでそれを祝福しました。
4. 人々は驚きながら、大喜びでパンと魚を食べました。残りのパンくずを集めると12のかごにいっぱいになりました。
5. たとえ小さなものであっても、主は祝し、神の国のご事業のために用いてくださいます。
6. 難しい問題も自分で抱え込んでいては、いくら知恵を絞っても解決されません。イエス様のところに持っていくのです。